

# の原因となる浮遊粒子・ダニ・カビ・ほこりなど、90%以上除去。



## シックハウスの原因は VOCだけではありません。

近年、室内空気の汚染が引き起こすシックハウス症候群が大変問題となっています。その原因としてVOC（揮発性有機化合物）が問題視されていますが、化学物質以外の空気中の浮遊粒子、花粉・ダニ・カビ・ほこりなどがシックハウスの原因となることは残念ながらあまり認識されていません。

**TFPはハウスダストなどのアレルゲン対策に  
大変有効な空気清浄機です。**

### TFPエアクリーナーにより授業が円滑に

#### 場所

ワシントン州シアトル南西部のハイライン・スクール#401地区には、学校が約30校、生徒が約18,000人、学校職員が約2,000人在籍しています。建物自体は大変古く、一番古いもので1904年設立です。

#### 室内空気の問題

北米の学校の多くは、古いラジエーター式の暖房設備や換気不足などが原因で室内空気が汚染されるという事態に直面しています。特に、空気中に蔓延するホコリやカビの胞子などのアレルゲン原因物質（アレルゲン）が引き起こす問題は非常に深刻です。実際ハイライン・スクール地区のある小学校は、空気中のアレルゲンが呼吸器疾患やぜんそくを引き起こし、閉鎖に追い込まれました。しかしこの一件が放置状態だった室内空気の問題を浮き彫りにし、同地区自治体が室内空気質の改善に真剣に取り組むきっかけとなりました。

#### TFPの導入

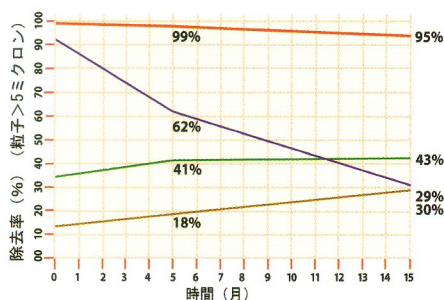
シアトル在住の環境研究者デヴィッド・アンダーソン博士はニューテックのTFPの存在を知りました。そして博士はTFPが手頃な価格で即時に空気中のアレルゲンを取り除くことを、同地区自治体へデモによって証明してみせました。その結果、全室型TFPエアクリーナーが地区内の空気の問題をかかえた教室へ導入されることとなったのです。

TFPが設置された教室ではアレルゲンの問題は解決され、地区内のTFPの利用率は上昇し続けています。そして現在では、室内空気の汚染が心配される場所にはまずTFPを設置するまでになり、TFPの性能は地区の深い信頼を得ています。

#### TFP設置後

地区の設備サービスマネージャー、フランク・エシュピーター氏は次のように語っています。「アレルゲンに悩まされていた学校は、2〜3日で違いが感じられ、新鮮な空気の中で授業ができると教師達からの評判も上々です。メンテナンスも、月に一度コレクターをチェックして必要に応じて交換するだけなので楽でいいですね。」

現在200台以上のTFPがハイライン・スクール地区で使用されており、さらに60台以上の設置が決定しています。その他に地区では、TFPの設置が必要な教室はそれ以外にまだ400以上あると考えています。



### エアークリーナーの比較

#### グラフの説明

- 1番上の線: TFPエアクリーナー  
使用期限が過ぎてても性能の落ちが少ない
- 2番上の線: 有名メーカーの電気空気清浄機  
性能の落ちは衝撃的に大きい
- 3番上の線: 一般的なメディアフィルタ (深いブリーツ状のフィルタを使用)  
物質除去率は比較的低く時間の経過と共に少しずつ高くなっている
- 4番上の線: 静電気フィルタ  
物質除去率は一番低い

メモ: 効率×始めの空気流量=物質除去率  
(メディアフィルタと静電気フィルタは補らえた物質により空気流が減っている中での結果)

### ※2.医師によるライフグレスTFP使用指示書

